



財務・組織・統計

Financial Affairs, Organization and Statistics

財務諸表等

予算・決算

(単位：百万円)

| | | 予算額 | 決算額 |
|-----------|-------------------------|---------------|---------------|
| 収入 | 運営費交付金 | 13,729 | 13,729 |
| | 運用収入 | 1,886 | 1,792 |
| | 寄附金収入 | 655 | 1,016 |
| | その他収入 | 129 | 203 |
| | 承継積立金取崩収入 | 396 | 371 |
| 合計 | | 16,797 | 17,113 |
| 支出 | 業務経費 (a+b+c+d+e) | 12,680 | 12,991 |
| | a.文化芸術交流事業費 | 3,542 | 3,385 |
| | b.海外日本語事業費 | 3,602 | 3,562 |
| | c.海外日本研究・知的交流事業費 | 2,479 | 2,472 |
| | d.調査研究・情報提供等事業費 | 440 | 531 |
| | e.その他事業費 | 2,615 | 3,039 |
| | 一般管理費 (a+b) | 4,438 | 4,480 |
| | a.人件費 | 2,629 | 2,660 |
| | b.物件費 | 1,809 | 1,819 |
| | 合計 | 17,119 | 17,471 |

(注1) 支出決算額は前年度からの繰越341百万円の執行を含む。

(注2) 収入決算額の増額は、主として特定寄附金収入や日本語能力試験収入の増額による。

(注3) 百万円未満は切り捨てているので、合計とは端数において必ずしも一致しない場合がある。

貸借対照表 (2006年3月31日)

(単位：円)

| 資産の部 | | | |
|----------|------------------------------|-----------------|------------------------|
| 流動資産 | 現金及び預金 | | 9,233,125,948 |
| | 有価証券 | | 7,151,123,473 |
| | 前払費用 | | 33,059,556 |
| | 未収収益 | | 285,997,846 |
| | その他の流動資産 | | 32,289,067 |
| 流動資産合計 | | | 16,735,595,890 |
| 有形固定資産 | 建物 | 12,494,062,452 | |
| | 減価償却累計額 | △ 1,379,509,103 | 11,114,553,349 |
| | 構築物 | 309,667,593 | |
| | 減価償却累計額 | △ 67,420,872 | 242,246,721 |
| | 機械装置 | 9,134,105 | |
| | 減価償却累計額 | △ 4,272,745 | 4,861,360 |
| | 車両運搬具 | 89,004,727 | |
| | 減価償却累計額 | △ 47,451,655 | 41,553,072 |
| | 工具器具備品 | 945,659,053 | |
| | 減価償却累計額 | △ 530,536,609 | 415,122,444 |
| | 美術品 | | 432,165,349 |
| | 土地 | | 216,327,000 |
| | 建設仮勘定 | | 50,555,960 |
| | 有形固定資産合計 | | |
| 無形固定資産 | 借地権 | | 10,598,000 |
| | ソフトウェア | | 64,915,032 |
| | 電話加入権 | | 567,000 |
| | 無形固定資産合計 | | |
| 投資その他の資産 | 投資有価証券 | | 84,578,257,001 |
| | 敷金保証金 | | 1,740,489,907 |
| | 投資その他の資産合計 | | |
| 固定資産合計 | | | 98,912,212,195 |
| 資産合計 | | | 115,647,808,085 |
| 負債の部 | | | |
| 流動負債 | 運営費交付金債務 | | 344,959,492 |
| | 預り寄附金 | | 15,000,000 |
| | 未払金 | | 747,862,369 |
| | 未払費用 | | 4,607,358 |
| | 未払消費税 | | 228,300 |
| | 前受金 | | 302,400 |
| | 預り金 | | 38,108,027 |
| | リース債務 | | 13,128,881 |
| | 引当金 | | |
| 賞与引当金 | 16,647,247 | | 16,647,247 |
| 流動負債合計 | | | 1,180,844,074 |
| 固定負債 | 資産見返負債 | 505,529,423 | |
| | 資産見返運営費交付金 | | 556,085,383 |
| | 建設仮勘定見返運営費交付金 | 50,555,960 | |
| 長期リース債務 | | 2,499,550 | |
| 固定負債合計 | | | 558,584,933 |
| 負債合計 | | | 1,739,429,007 |
| 資本の部 | | | |
| 資本金 | 政府出資金 | 112,970,859,465 | |
| | 資本金合計 | | |
| 資本剰余金 | 資本剰余金 | △ 8,437,489 | |
| | 損益外減価償却累計額 (△) | △ 2,005,259,928 | |
| | 民間出えん金 | 899,251,787 | |
| | 資本剰余金合計 | | |
| 利益剰余金 | 承継積立金 | 1,463,118,046 | |
| | 積立金 | 381,898,735 | |
| | 当期末処分利益 (うち当期総利益206,948,462) | 206,948,462 | |
| | 利益剰余金合計 | | |
| 資本合計 | | | 113,908,379,078 |
| 負債資本合計 | | | 115,647,808,085 |

財務諸表等

損益計算書 (2005年4月1日～2006年3月31日)

(単位：円)

| | | | |
|------|---------------|---------------|---------------|
| 経常費用 | 文化芸術交流事業費 | | 3,752,016,138 |
| | 日本語教育事業費 | | 3,895,315,131 |
| | 日本研究・知的交流事業費 | | 2,723,681,257 |
| | 調査研究・情報提供等事業費 | | 650,233,213 |
| | その他事業費 | | |
| | 在外事業費 | 2,743,195,320 | |
| | 文化交流施設等協力事業費 | 973,034,814 | 3,716,230,134 |
| | 一般管理費 | | 2,373,158,691 |
| | 財務費用 | | 519,248 |

経常費用合計 17,111,153,812

| | | | |
|------|--------------|-------------|----------------|
| 経常収益 | 運営費交付金収益 | | 13,667,937,794 |
| | 運用収益 | | 1,817,148,205 |
| | 寄附金収益 | | |
| | 寄附金収益 | 47,415,249 | |
| | 特定寄附金収益 | 964,936,216 | 1,012,351,465 |
| | 資産見返戻入 | | |
| | 資産見返運営費交付金戻入 | 59,599,534 | 59,599,534 |
| | 財務収益 | | |
| | 受取利息 | 340,764 | 340,764 |
| | 雑益 | | 389,319,135 |

経常収益合計 16,946,696,897

経常損失 164,456,915

当期純損失 164,456,915

承継積立金取崩額 371,405,377

当期総利益 206,948,462

利益の処分に関する書類

(単位：円)

| | | |
|---------|-------|--------------------|
| 当期末処分利益 | | 206,948,462 |
| | 当期総利益 | 206,948,462 |

| | | |
|-------|-----|--------------------|
| 利益処分類 | | 206,948,462 |
| | 積立金 | 206,948,462 |

キャッシュ・フロー計算書 (2005年4月1日～2006年3月31日)

(単位：円)

| | | |
|----------------------|-------------------------|----------------------|
| 業務活動による キャッシュ・フロー | 事業による支出 | △ 12,692,907,172 |
| | 人件費支出 | △ 2,662,386,004 |
| | その他の業務支出 | △ 1,844,324,299 |
| | 運営費交付金収入 | 13,729,529,000 |
| | 運用収入 | 1,792,477,503 |
| | 寄附金収入 | 1,016,556,047 |
| | その他の雑収入 | 279,717,683 |
| | 小計 | △ 381,337,242 |
| | 利息の受取額 | 340,744 |
| | 利息の支払額 | △ 519,248 |
| | 業務活動によるキャッシュ・フロー | △ 381,515,746 |
| 投資活動による キャッシュ・フロー | 投資有価証券の取得による支出 | △ 9,130,131,288 |
| | 投資有価証券の償還による収入 | 9,920,216,011 |
| | 有形固定資産の取得による支出 | △ 233,451,095 |
| | 有形固定資産の売却による収入 | 8,885,063 |
| | 敷金保証金の取得による支出 | △ 70,197,153 |
| | 投資活動によるキャッシュ・フロー | 495,321,538 |
| 財務活動による キャッシュ・フロー | リース債務の返済による支出 | △ 28,288,792 |
| | 政府出資金収入 | 2,000,000,000 |
| | 民間出せん金収入 | 3,000,000 |
| | 財務活動によるキャッシュ・フロー | 1,974,711,208 |
| 資金に係る換算差額 | 2,016,541 | |
| 資金増加額 | 2,090,533,541 | |
| 資金期首残高 | 7,142,592,407 | |
| 資金期末残高 | 9,233,125,948 | |

行政サービス実施コスト計算書 (2005年4月1日～2006年3月31日)

(単位：円)

| | | | |
|---------------------|--|----------------------|-----------------------|
| 業務費用 | 損益計算書上の費用 | | |
| | 事業費用 | 14,737,475,873 | |
| | 一般管理費 | 2,373,158,691 | |
| | 財務費用 | 519,248 | |
| | 雑損 | 0 | 17,111,153,812 |
| | (控除) 自己収入等 | | |
| | 運用収入 | △ 1,817,148,205 | |
| | 寄付金収入 | △ 1,012,351,465 | |
| | 財務収益 | △ 340,764 | |
| | 雑益 | △ 389,319,135 | △ 3,219,159,569 |
| | 業務費用合計 | | 13,891,994,243 |
| 損益外減価償却等 相当額 | 損益外減価償却相当額 | 771,354,507 | |
| | 損益外固定資産除却相当額 | 2,299,162 | 773,653,669 |
| 引当外退職給付増加見積額 | | △ 256,066,747 | |
| 機会費用 | 国又は地方公共団体財産の無償又は減額 された使用料による貸借取引の機会費用 | 403,935,055 | |
| | 政府出資又は地方公共団体出資等の 機会費用 | 1,952,464,943 | 2,356,399,998 |

行政サービス実施コスト

16,765,981,163

重要な会計方針

1. 運営費交付金収益の計上基準

費用進行基準を採用している。

2. 減価償却の会計処理方法

(1) 有形固定資産

定額法を採用している。

なお、主な資産の耐用年数は以下のとおり。

| | |
|--------|-------|
| 建物 | 2～43年 |
| 構築物 | 2～15年 |
| 機械装置 | 2～13年 |
| 車両運搬具 | 2～6年 |
| 工具器具備品 | 2～20年 |

特定の償却資産(独立行政法人会計基準第86)の減価償却については、損益外減価償却累計額として資本剰余金から控除して表示している。

(2) 無形固定資産

定額法を採用している。なお、法人内利用のソフトウェアについては、法人内における利用可能期間(5年)に基づいている。

3. 退職給付に係る引当金及び見積額の計上基準

退職一時金については、運営費交付金による財源措置がなされるため、退職給付にかかる引当金は計上していない。

厚生年金基金から支給される年金給付については、運営費交付金により厚生年金基金への掛金及び年金基金積立不足額に関して財源措置がなされるため、退職給付にかかる引当金は計上していない。

なお、行政サービス実施コスト計算書における引当外退職給付増加見積額は、会計基準第38に基づき計算された退職給付引当金の当期増加額を計上している。

4. 賞与引当金の計上基準

運営費交付金によって予算措置されない役職員の賞与支給に備えるため、当基金の賞与支給に係る規程に基づく見込額を計上している。

5. 有価証券の評価基準及び評価方法

満期保有を目的とするため償却原価法を適用している。

6. 外貨建資産・負債の本邦通貨への換算基準

外貨建金銭債権債務は、期末日の直物為替相場により円貨に換算し、換算差額は損益として処理している。

7. 行政サービス実施コスト計算書における機会費用の計上方法

(1) 国又は地方公共団体財産の無償使用料による貸借取引の機会費用の計算方法

各都道府県等の条例等で定める土地使用料並びに近隣の賃借料を参考に計算している。

(2) 政府出資の機会費用の計算に使用した利率

10年利付国債の平成18年3月末利回りを参考に1.770%で計算している。

8. リース取引の処理方法

リース料総額が300万円以上のファイナンス・リース取引については、通常の売買取引に係る方法に準じた会計処理によっている。

リース料総額が300万円未満のファイナンス・リース取引については、通常の賃貸取引に係る方法に準じた会計処理によっている。

9. 消費税等の会計処理

消費税等の会計処理は、税込方式によっている。

注記事項

(貸借対照表関係)

運営費交付金から充当されるべき

退職給付引当金の見積額：△4,291,254,615円

退職給付債務及びその内訳 (2005年度)

| | |
|--------------------------------------|----------------|
| (1) 退職給付債務 | △6,098,033,099 |
| (2) 年金資産 | 1,806,778,484 |
| (3) 未積立退職給付債務 (1) + (2) | △4,291,254,615 |
| (4) 会計基準変更時差異の未処理額 | 0 |
| (5) 未認識数理計算上の差異 | 0 |
| (6) 未認識過去勤務費用 (債務の減額) | 0 |
| (7) 貸借対照表計上額純額 (3) + (4) + (5) + (6) | △4,291,254,615 |
| (8) 前払年金費用 | 0 |
| (9) 退職給付引当金 (7) - (8) | △4,291,254,615 |

退職給付費用の内訳 (2005年度)

| | |
|-----------------------|--------------|
| (1) 勤務費用 | 298,060,400 |
| (2) 利息費用 | 68,600,800 |
| (3) 期待運用収益 | 0 |
| (4) 数理計算上の差異の費用処理額 | △220,797,609 |
| (5) その他 (厚生年金基金加入者掛金) | △59,039,412 |

退職給付債務などの計算基礎 (2005年度)

| | |
|----------------------------------|--------|
| (1) 割引率 退職年金 | 2.0% |
| (2) 退職給付見込額の期間配分方法 | 期間定額基準 |
| (3) 過去勤務債務の処理年数 | — |
| (4) 数理計算上の差異の処理年数 | 1 |
| (5) その他 (会計基準変更時差異の処理年数、実際運用収益等) | 1 |

(行政サービス実施コスト計算書関係)

国又は地方公共団体からの出向職員に係る

引当外退職給付引当金増加見積額

……………7,797,300円

(キャッシュ・フロー計算書関係)

1. 現金及び現金同等物と貸借対照表に記載される金額との関係

貸借対照表の現金及び預金残高 ……9,233,125,948円

現金及び現金同等物の期末残高 ……9,233,125,948円

2. 重要な非資金取引 ………………該当事項はない。

(重要な債務負担行為)

該当事項はない。

(重要な後発事象)

該当事項はない。

(固有の表示科目の内容)

1. 承継積立金とは、独立行政法人国際交流基金法附則第3条第6項に規定する「基金の最初の中期目標の期間における業務の財源に充てる金額」として、特殊法人国際交流基金より承継した剰余金である。

2. 承継積立金は、運用収入、寄附金収入(特定寄附金収入を除く)及びその他収入を財源とする事業費支出の決算額が当該収入の決算額を超える場合において、不足する財源に充当するために取り崩すこととしている。

民間からの資金協力

国際文化交流事業は、国民間の相互理解を深め、持続的な友好関係を維持することを主たる目的としていることから、事業の実施にあたっては広く国民的基盤に立って行っていきたい。

また事業の財源の面においても、政府のみならず企業、団体、個人等の民間各界よりの協力を得られるよう、独立行政法人国際交流基金は民間各界に対し出えん金、寄附金、物品供与等の様々な形態の支援をお願いしている。

民間からの当基金に対する資金提供の形態には、出えん金、寄附金の2通りがある。このうち出えん金は政府出資金とともに事業費を生み出すための運用元本を形成している。また、寄附金には、当基金が実施する文化交流事業の経費に充当される一般寄附金及び国内外の公益団体が実施する特定の文化交流事業に対する助成金の原資とすることを前提に受け入れる特定寄附金とがある。基金設立以来2005年度末までの一般寄附金受入額は22億7,787万円、特定寄附金は623億6,816万円にのぼる。

1. 一般寄附金

基金の実施する文化交流事業の事業費に充当される寄附金。寄附の時期、寄附額とも任意の「一般寄附金制度」、民間企業等に毎年定額の寄附をお願いする「法人会員制度」「賛助会」、基金事業への関心や理解を深めてもらうことを主眼とした「JFサポーターズクラブ」の3つがある。2005年度の一般寄附金実績は、1,163件、5,462万円(入金ベース)である。

(1) 一般寄附金制度

時期、寄附額とも任意でいただく寄附金。

寄附者の意向に従って寄附された年度の事業費に充当する方式と、当該寄附金を恒久的にファンド(運用資金元本)に組み入れ、その利息を毎年の事業費に充当する方式とがある。

後者の場合、寄附者の希望及び寄附額によってはこれを以って特別事業を行い、事業名に寄附者(法人・個人を問わない)の名を冠する「冠寄附」とすることもできる。現在までの例は次のようなものがある。

・「内田奨学金フェロウシップ」[寄附者:内田元亨氏(故人)]

米国・欧州等の若手音楽家を我が国に招へいし、我が国の著名な音楽関係者との交流を行うとともに共演、共同制作に従事する機会を与える。

2005年度は、米国及びフランスより、各1名のフェロウを招へいした。(担当:芸術交流部舞台芸術課)

・「高砂熱学工業・日本研究奨励スカラシップ」[寄附者:高砂熱学工業株式会社]

東南アジアの日本研究振興のために東南アジアの若手日本研究者に対し、訪日して研究に従事するための資金を提供する。

2005年度は、マレーシアの研究者による「東アジアの地域主義とマレーシア・日本2国関係」をテーマとした研究に対し奨学金が提供された。(担当:日本研究・知的交流部アジア・大洋州課)

・「開高健記念アジア作家招へい講演会」[寄附者:開高初子氏、開高道子氏(作家開高健氏のご遺族、いずれも故人)]

日本であまりなじみのないアジアの文学者とその作品を一般の方々で紹介するとともに文学関係者同士の交流を促進するため、アジアから作家、文学関係者を2週間程度日本に招へいし、日本各地で講演会や意見交換を実施する。

2005年度は、バングラデシュよりイムダドゥル・ホク・ミロン氏を招へいし、「バングラデシュ人の誇りと苦悩」をテーマとした講演会を広島、東京、大阪、仙台にて開催した。(担当:文化事業部市民青少年交流課)

・「渡辺健基金」図書寄贈[寄附者:渡辺行信氏(米国研修中に事故で逝去された元外務省職員渡辺健氏のご遺族)]

中国 天津社会科学院及び吉林省社会科学院に日本研究のため

の図書を寄贈する。

2005年度は、天津社会科学院に223冊、吉林省社会科学院に135冊の図書の寄贈を行った。

(担当:日本研究・知的交流部アジア・大洋州課)

《一般寄附者》(五十音順、敬称略)

愛知製鋼(株)、(学)岩崎学園、上野トランステック(株)、川本工業(株)、(株)クボタ、(株)神戸製鋼所、(株)サカタのタネ、山陽特殊製鋼(株)、(株)資生堂、新日鐵住金ステンレス(株)、新日本製鐵(株)、JFEスチール(株)、住友金属工業(株)、住友電気工業(株)、太平洋金属(株)、大同特殊鋼(株)、タカナシ乳業(株)、中央電気工業(株)、東京ビジネスサービス(株)、(株)東北新社、東北特殊鋼(株)、東洋鋼板(株)、トピー工業(株)、(財)直島福武美術館財団、(株)中山製鋼所、日興コーデリアル証券(株)第一公益法人部、日新製鋼(株)、日鉄鋼板(株)、日本金属(株)、日本金属工業(株)、日本高周波鋼業(株)、日本重化学工業(株)、(株)日本製鋼所、日本電工(株)、日本冶金工業(株)、日本郵船(株)、パナソニックモバイルコミュニケーションズ(株)、日立金属(株)、(株)不二越、普通鋼電炉工業会、(株)松尾工務店、三菱製鋼(株)、森ビル(株)、(株)横浜銀行、(株)淀川製鋼所、ライオンズクラブ国際協会330-B地区、(株)ロイヤルホール、(株)ワコール、JR東海モニター会員1,926名、ほか個人2名

(2) 法人会員制度(「賛助会」)

毎年一定額の寄附金を企業、団体より会費としていただく制度。「賛助会」の会員は、普通会员と特別会員に分かれ、前者は1口(法人10万円)以上、後者は5口以上の協力をお願いしている。

納入された賛助寄附金はその年度の文化交流事業に充当し、会員に対しては、基金出版物の配布、基金主催・共催の講演会等催し物への招待、基金図書館利用等の特典を供与している。2005年度末の会員数は60団体である。

《賛助会員》(五十音順、敬称略)(2006年3月31日現在)

(特別会員)

(株)講談社、松竹(株)、電源開発(株)、(株)三菱東京UFJ銀行、(株)みずほ銀行、(株)ワコール

(普通会员)

(財)池坊華道会、出光興産(株)、(株)印象社、ウシオ電機(株)、(財)NHKインターナショナル、カトーレック(株)、(株)関西アーバン銀行、(株)紀伊國屋書店、共栄火災海上保険(株)、近畿日本ツーリスト(株)、講談社インターナショナル(株)、(財)講道館、(社)国際交流サービス協会、(株)国際サービスエージェンシー、コスモ証券(株)、(学)駒澤大学、(財)裏千家今日庵、(株)桜映画社、(株)資生

堂、(株)ジャパンエコー社、(社)出版文化国際交流会、(財)少林寺拳法連盟、スターレーン航空サービス(株)、(財)全日本剣道連盟、第一生命保険相互会社、(株)第一成和事務所、ダイキン工業(株)、大和証券SMBC(株)、(株)電通、東京工業品取引所、(株)東京スタデオ、東京ビジネスサービス(株)、日興コーディアル証券(株)、日新火災海上保険(株)、(社)日本映画製作者連盟、(株)日本折紙協会、(財)日本国際協力センター、野村証券(株)、(株)ビコン、(株)美術出版デザインセンター、(株)日立製作所、(株)ビデオ・ペディック、富士ゼロックス(株)、(株)フジテレビジョン、(株)凡人社、本田技研工業(株)、松下電器産業(株)、みずほインベスターズ証券(株)、みずほ証券(株)、(株)三井住友銀行、三菱UFJ証券(株)、(株)明治書院ホールディングス、森ビル(株)、(財)ワイ・エフ・ユー日本国際交流財団

(3) JFサポーターズクラブ

個人を対象として基金事業への理解促進と協力の拡大を目的とする会員制度。年会費(フレンド1,000円、アソシエイト3,000円、パートナー10,000円)が、基金に対する寄附金として受領される。

2. 特定寄附金

国内または海外の公益団体が実施する特定の文化交流事業に対する助成金の原資となることを前提に受け入れる寄附金。対象となる事業は、人物交流、海外における日本研究や日本語教育、公演、展示、セミナー及び国際会議等の催し、日本文化を海外に紹介するための視聴覚資料に係る事業、国際文化交流を行うために必要な調査及び研究を行う事業、国際文化交流を目的とする教育及び文化活動のための施設に対する援助に係る事業である。

2005年特定寄附金受入実績は、47件、9億6,494万円(547名の個人及び460の法人・団体よりの寄附を受入)であり、これを原資に以下の32件の事業に助成金を交付した。

《2005年度支援事業》

- ロータリー国際親善奨学支援事業①(米国)
- ロータリー国際親善奨学支援事業②(米国)
- アジア・カルチュラル・カウンシルの日米芸術文化交流プログラム基金(米国)
- アルバータ大学高門宮殿下日本カナダ記念基金(カナダ)
- ミシガン大学ロー・スクール日本法研究プログラム(米国)
- ハーバード・ロー・スクール日本法・文化研究プログラム(米国)
- 発展する北東アジアにおける日本(米国)
- ダートマス大学における日本学基金(米国)
- コロンビア・ロー・スクール日本法研究奨学金(米国)
- シカゴ・ロー・スクール日本法・文化プログラム(米国)
- デューク・ロー・スクール日本法・文化プログラム(米国)
- コロンビア・ロー・スクール日本法研究センター25周年記念事業(米国)
- 特定非営利活動法人エルエスエイチアジア奨学金(日本)
- ドイツ社団法人日本語普及センター日本語教育事業(ドイツ)
- ジャパン・リターン・プログラム2006年日本語サミット(日本)
- 2005年スペシャルオリンピックス冬季世界大会(日本)
- 財団法人日本さくらの会設立40周年記念国際シンポジウム「環境・さくら・文化交流」および講演会(日本)
- 「日韓友情年2005」実行委員会企画事業(日本・韓国)

- パシフィック・ビジョン:グローバル経済における日加のリーダーシップ(米国)
- 「富士山」-北斎・広重の浮世絵、そして写真に見る日本の美(ハンガリー)
- 政経文化画人展「日韓友情年2005」特別展(日本)
- 四天王寺ワッツ(日本・韓国)
- ミュージック・フロム・ジャパン2006年音楽祭(米国)
- 第12回ホノルルフェスティバル(米国)
- ワールド・パートナーシップ・フォーラムin青森(日本)
- 「やきもの:日本陶磁4000年」展(米国)
- 日豪交流年実行委員会プロジェクト(オーストラリア)
- 日本音楽紹介ラジオ番組制作事業(中国)
- キープ国際研修交流センター整備事業(日本)
- 財団法人日本民藝館「旧柳邸修復事業」(日本)
- フランス国立人類博物館内日本民家復元事業(フランス)
- フランクフルト現代茶室建設プロジェクト(ドイツ)

《2005年度事業例》

○「日韓友情年2005」実行委員会企画事業(事業実施団体:「日韓友情年2005」実行委員会)

・特定寄附金受入額(=特定助成金支給額)208,200千円

・日韓国交正常化40周年を記念した「日韓友情年2005」の実行委員会により、「日韓友情の出会い」として「日韓交流シンポジウム」及び「日韓文化交流展」、「日韓友情の体験」として「日韓交流おまつり」、「日韓友情の未来」として「日韓友情年記念コンサート」及び「日韓青少年対話の広場」の5つの企画事業を実施した。各種事業の来場者・入場者は合計約8万人となり、日韓両国のマスコミで紹介され、高評を得た。

○「富士山」-北斎・広重の浮世絵、そして写真に見る日本の美(事業実施団体:日本ハンガリー友好協会)

・特定寄附金受入額(=特定助成金支給額)9,000千円

・同展覧会は、ハンガリー・ナショナルギャラリーにて2005年10月13日から11月13日まで開催され、葛飾北斎、安藤広重の富嶽36景、写真家・富塚晴夫氏による富士山をテーマとした作品30点を展示した。展覧会は盛況であり、多くの来館者が訪れた。

3. 税制上の優遇措置について

基金は法人税施行令第77条及び所得税法施行令第217条により「公益の増進に著しく寄与する法人」に指定されており、一般寄附金、特定寄附金を問わず、基金への寄附については以下のとおり税制上の優遇措置が受けられる。

(1) 法人の場合

通常の寄附金損金算入限度額とは別枠で、これと同額まで損金算入が認められる。

損金算入の限度額は次の計算式による。

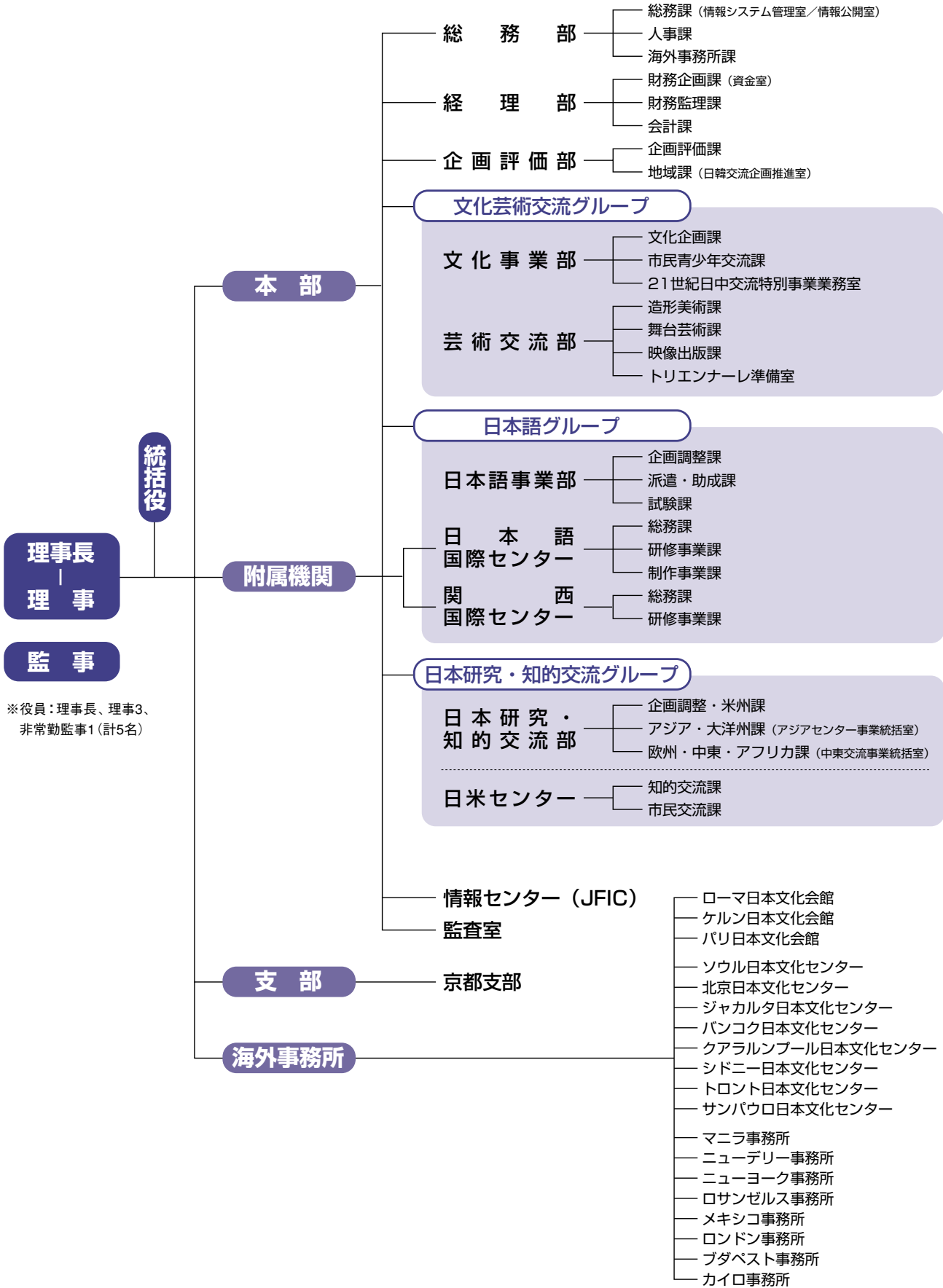
$$\text{損金算入限度額} = \{(\text{資本等の金額} \times \text{当期の月数} / 12 \times 0.0025) + (\text{当期の所得金額} \times 0.025)\} \times 0.5$$

(2) 個人の場合

所得の30%を上限として、その寄附額から5千円(2005年分以前は1万円)を差し引いた金額が所得控除の対象となる。また、相続財産からの寄附についても税制上の優遇措置がある。

組織

■国際交流基金の組織 (2006年3月31日現在)



※役員：理事長、理事3、
非常勤監事1(計5名)

諮問委員会等

■国際交流基金に関する有識者委員会

委員会は、理事長の諮問に応じ、基金の事業および関連の業務について評価を行うとともに、業務の改善やそのために必要な方策について意見を述べる諮問委員会である。メンバーは、国際交流分野および基金の活動につき造詣の深い有識者、学識経験者等で構成されている。

委員(五十音順、敬称略)(2006年3月31日現在)

| | | | |
|--------|-------------|-------|--------------------|
| 浅海 保 | 読売新聞編集局長 | 曾田 修司 | 跡見学園女子大学教授 |
| 岩男 寿美子 | 武蔵工業大学教授 | 高階 秀爾 | 大原美術館館長(座長) |
| 片山 正夫 | セゾン文化財団常務理事 | 埴 章次 | 東京電力顧問 |
| 佐久間 勝彦 | 聖心女子大学教授 | 御厨 貴 | 東京大学先端科学技術研究センター教授 |

■日本研究米国諮問委員会(American Advisory Committee for Japanese Studies)

日本研究米国諮問委員会は、日米両国間の文化交流が基金の活動の中で特に大きな割合を占めている事実を鑑み、基金の対米日本研究支援事業につき意見および助言を得るため設置されている機関で、米国の著名な日本研究者15名の委員で構成されている。本委員会は、米国向けのフェロウシップ・プログラムおよび機関支援プログラムについて申請の審査・推薦を行っている。

委員(姓のアルファベット順、敬称略)(2006年3月31日現在)

| | | | |
|----------------------|--------------------|------------------------|--------------------------|
| Mary Elizabeth Berry | カリフォルニア大学バークレー校教授 | Susan J. Napier | テキサス大学オースティン校教授 |
| Kent Calder | ジョーンズ・ホプキンス大学教授 | Laurel R. Rodd | コロラド大学ボルダー校教授 |
| James C. Dobbins | オベリン大学教授 | Yoshiko Yokochi Samuel | ウェズリアン大学教授 |
| Wayne Farris | ハワイ大学マノア校教授 | Leonard Schoppa | バージニア大学准教授 |
| Laura Hein | ノースウエスタン大学准教授 | Veronica Taylor | ワシントン大学教授 |
| Wesley Jacobsen | ハーバード大学教授 | Kristina K. Troost | デューク大学パーキンス図書館国際・地域研究部門長 |
| William W. Kelly | エール大学教授 | | |
| Ellis S. Krauss | カリフォルニア大学サンディエゴ校教授 | | |
| Leonard Lynn | ケース・ウェスタン・リザーブ大学教授 | | |

■日米センター評議会

日米センターには、日米両国の有識者からなる「日米センター評議会」が設けられている。事業の基本方針、重点分野、優先分野などは、年2回開催されるこの評議会の定期会合に諮られている。(2005年7月まで)

委員(姓のアルファベット順、敬称略)(2006年3月31日現在)

| | | | |
|----------------|---------------------------------|------------|---------------------|
| 千野 境子 | 産経新聞社論説委員長 | 小笠原 敏晶 | 株式会社ジャパントイムズ代表取締役会長 |
| トーマス・S・フォーリー | 前米国駐日大使 | 緒方 四十郎 | 元日本銀行 理事 |
| ウィリアム・E・フランクリン | フランクリン・インターナショナル社社長 | 大原 謙一郎 | 財団法人大原美術館理事長 |
| バリー・D・ゲーバーマン | フォード財団上級副理事長 | 椎名 武雄 | 日本アイ・ビー・エム株式会社最高顧問 |
| ルビー・P・ハーン | ロバート・ウッド・ジョンソン財団名誉専務理事 | 田中 明彦 | 東京大学教授 |
| 五百旗頭 真 | 神戸大学教授 | エズラ・F・ボーゲル | ハーバード大学教授 |
| マーティン・マイヤーソン | ペンシルヴェニア大学名誉教授 | | |
| マイク・M・モチヅキ | ジョージワシントン大学 シングル・アジア研究センター所長 | | |

■パリ日本文化会館運営審議会

パリ日本文化会館には、館長の諮問機関として、パリ日本文化会館運営審議会が設けられている。日仏両国の有識者から成り、年1回、パリで会議が開催されている。

委員(順不同、敬称略)(2006年3月31日現在)

| | | | |
|-------|-------------------------------------|-------------------|--|
| 日本側委員 | フランス側委員 | | |
| 福原 義春 | 資生堂名誉会長 | André ROSS | 元駐日フランス大使、 クレディ=アグリコール・インドスエズ銀行顧問 |
| 伊東 順二 | 美術評論家 | Pierre SOULAGES | 芸術家・画家 |
| 大岡 信 | 詩人、文芸評論家、東京芸術大学客員教授 | Jacques RIGAUD | RTL(ルクセンブルグ・ラジオ・テレビ放送局)専務取締役、 ADMICAL会長 |
| 岸 恵子 | 女優、国連人口基金親善大使 | André LARQUIE | 現代ダンス劇場支配人、文化省顧問Jean MAHEU |
| 高階 秀爾 | 美術評論家、元国立西洋美術館館長、 東京大学名誉教授 | Paul ANDREU | テアトル・ドゥ・ラ・ヴィル主宰、会計検査院参事官 |
| 遠山 一行 | 音楽評論家、新国立劇場運営財団副理事長、 日本近代音楽財団理事長 | Alain CHEVALIER | 建築家 |
| 西垣 通 | 東京大学社会科学研究所教授 | Valérie TERRANOVA | ルイ・ヴィトン・モエ・ヘネシー元取締役社長 |
| 芳賀 徹 | 京都造形芸術大学学長、東京大学名誉教授 | Christian SAUTTER | 日本におけるフランス年事務局長 |
| 本野 盛幸 | 元駐フランス大使 | | エコノミスト、前経済財政工業大臣 |
| 樋口 陽一 | 上智大学法学部教授、東京大学名誉教授 | | |

連絡先一覧

■独立行政法人国際交流基金 本部 <http://www.jpf.go.jp/>

〒107-6021 東京都港区赤坂1-12-32 アーク森ビル20階、21階

※事業内容に関することなど一般的な照会と広報関係は情報センターにご連絡ください。

| | | | |
|------------------------|--|----------------|--|
| □役員室 | Fax : 03-5562-3492 Tel : 03-5562-3480 | □日本語事業部 | Fax : 03-5562-3498 Tel : 03-5562-3525 |
| | | 企画調整課 | Tel : 03-5562-3524 |
| | | 派遣・助成課 | Tel : 03-5562-3533 |
| | | 試験課 | Tel : 03-5562-3533 |
| □総務部 | Fax : 03-5562-3494 | | |
| 総務課 | Tel : 03-5562-3511 | | |
| 情報システム管理室 | Tel : 03-5562-3515 | □日本研究・知的交流部 | Fax : 03-5562-3497 |
| 情報公開室 | Tel : 03-5562-3507 | 企画調整・米州課 | Tel : 03-5562-3526 |
| 人事課 | Tel : 03-5562-3512 | アジア・大洋州課 | Tel : 03-5562-3522 |
| 海外事務所課 | Tel : 03-5562-3513 | 欧州・中東・アフリカ課 | Tel : 03-5562-3521 |
| | | | |
| □経理部 | Fax : 03-5562-3496 | □日米センター | Fax : 03-5562-3504 |
| 財務企画課 | Tel : 03-5562-3517 | 知的交流課 | Tel : 03-5562-3542 |
| 資金室 | Tel : 03-5562-3519 | 市民交流課 | Tel : 03-5562-3543 |
| 財務監理課 | Tel : 03-5562-3517 | | |
| 会計課 | Tel : 03-5562-3518 | □日中交流センター | Fax : 03-5562-3630 Tel : 03-5562-3639 |
| | | | |
| □企画評価部 | Fax : 03-5562-3503 | | |
| 企画評価課 | Tel : 03-5562-3537 | □情報センター (JFIC) | Fax : 03-5562-3534 Tel : 03-5562-3538 |
| 地域課 (日韓交流企画推進室) | Tel : 03-5562-3539 | JFICライブラリー | Fax : 03-5562-3499 Tel : 03-5562-3527 |
| | | JFサポーターズクラブ | Tel : 03-5562-3894 |
| □文化事業部 | Fax : 03-5562-3505 | | |
| 文化企画課 | Tel : 03-5562-3541 | | |
| (国際交流基金フォーラム/国際会議場事務局) | | | |
| 市民青少年交流課 | Tel : 03-5562-3532 | | |
| 事業開発戦略室 | Tel : 03-5562-3891 | | |
| | | | |
| □芸術交流部 | Fax : 03-5562-3500 | | |
| 造形美術課 | Tel : 03-5562-3529 | | |
| 舞台芸術課 | Tel : 03-5562-3530 | | |
| 映像出版課 | Tel : 03-5562-3535 | | |
| トリエンナーレ準備室 | Tel : 03-5562-3531 | | |

■日本語国際センター <http://www.jpf.go.jp/j/urawa/>

〒330-0074 埼玉県さいたま市浦和区北浦和5-6-36 Tel : 048-834-1180 Fax : 048-834-1170

総務課 Tel : 048-834-1181 Fax : 048-834-1170 研修事業課 Tel : 048-834-1182 Fax : 048-834-1170

制作事業課 Tel : 048-834-1183 Fax : 048-831-7846 図書館 Tel : 048-834-1185

■関西国際センター <http://www.jpf.go.jp/j/kansai/>

〒598-0093 大阪府泉南郡田尻町りんくうポート北3番 Tel : 072-490-2600 Fax : 072-490-2800

■京都支部

〒604-8186 京都府京都市中京区車屋町通御池下ル梅屋町361-1 アーバネックス御池ビル東館4F

Tel : 075-211-1312 Fax : 075-255-1273

連絡先一覧

■海外事務所

□韓国

ソウル日本文化センター <http://www.jpfor.kr/>
The Japan Foundation, Seoul
Hungkuk Life Insurance Bldg. 3F, 226
Sinmunno 1-ga, Jongno-gu, Seoul 110-061, Korea
Tel : 82 (2) -397-2820 Fax : 82 (2) -397-2830

□中国

北京日本文化センター <http://www.jpfbj.cn/>
The Japan Foundation, Beijing
No.2 CITIC Bldg., 8F, 19 Jianguomenwai Ave. 100004 Beijing, China
北京市建国門外大街 19号 国際大厦2号楼8層 〒100004
Tel : 86 (10) 6500-6523/24 Fax : 86 (10) 6500-6526

□インドネシア

ジャカルタ日本文化センター <http://www.jpfor.id>
The Japan Foundation, Jakarta
Summitmas I, 2-3F, Jalan Jenderal Sudirman, Kav. 61-62
Jakarta Selatan 12190, Indonesia
Tel : 62 (21) 520-1266 Fax : 62 (21) 525-5159

□タイ

バンコク日本文化センター <http://www.jfbkk.or.th/>
The Japan Foundation, Bangkok
Serm Mit Tower, 10F, 159 Sukhumvit 21 (Asoke Road)
Bangkok 10110, Thailand
Tel : 66 (2) 260-8560~64 Fax : 66 (2) 260-8565

□フィリピン

マニラ事務所 <http://www.jfmo.org.ph/>
The Japan Foundation, Manila
12th Floor, Pacific Star Bldg., Sen. Gil. J. Puyat Ave. Ext., cor.
Makati Ave., Makati, Metro Manila, The Philippines
Tel : 63 (2) 811-6155~58 Fax : 63 (2) 811-6153

□マレーシア

クアラルンプール日本文化センター <http://www.jfkl.org.my/>
The Japan Foundation, Kuala Lumpur
Suite 30.01, Level 30, Menara Citibank,
165, Jalan Ampang, 50450 Kuala Lumpur, Malaysia
Tel : 60 (3) 2161-2104 Fax : 60 (3) 2161-2344

□インド

ニューデリー日本文化センター <http://www.jfindia.org.in/home.htm>
The Japan Foundation, New Delhi
5-A, Ring Road
Lajpat Nagar-IV, New Delhi, 110024, India
Tel : 91 (11) 2644-2967 および 2968 Fax : 91 (11) 2644-2969

□オーストラリア

シドニー日本文化センター <http://www.jpfor.au/>
The Japan Foundation, Sydney
Shop 23, Level 1, Chifley Plaza, 2 Chifley Square, Sydney, NSW 2000,
Australia
Cultural Section: Tel : 61 (2) 8239-0055 Fax : 61 (2) 9222-2168
Language Section: Tel : 61 (2) 8239-0077 Fax : 61 (2) 9222-2169
Library Section: Tel : 61 (2) 8239-0011 Fax : 61 (2) 9222-2164

□カナダ

トロント日本文化センター
<http://www.japanfoundationcanada.org/>
The Japan Foundation, Toronto
131 Bloor Street West, Suite 213, Toronto, Ontario, M5S 1R1, Canada
Tel : 1 (416) 966-1600 Fax : 1 (416) 966-9773

□米国

ニューヨーク事務所 <http://www.jfny.org/>
The Japan Foundation, New York
152 West 57th Street, 17F, New York, NY 10019, U.S.A.
Tel : 1 (212) 489-0299 Fax : 1 (212) 489-0409

日米センター (ニューヨーク) <http://www.cgp.org/>
Center for Global Partnership (NY)
152 West 57th Street, 17F, New York, NY 10019, U.S.A.
Tel : 1 (212) 489-1255 Fax : 1 (212) 489-1344

ロサンゼルス事務所 <http://www.jfalc.org/>
The Japan Foundation, Los Angeles
333 South Grand Avenue, Suite 2250
Los Angeles, CA, 90071, U.S.A.
Tel : 1 (213) 621-2267 Fax : 1 (213) 621-2590

□メキシコ

メキシコ事務所 <http://www.fjmex.org>
The Japan Foundation, Mexico
Ejercito Nacional # 418-2° piso
Còl. Chapultepec Morales, C.P. 11570 Mexico, D.F., Mexico
Tel : 52 (55) 5254-8506 Fax : 52 (55) 5254-8521

□ブラジル

サンパウロ日本文化センター <http://www.fjisp.org.br/>
The Japan Foundation, Sao Paulo
Avenida Paulista, 37, 2° andar CEP 01311-902, Sao Paulo SP, Brasil
Tel : 55 (11) 3141-0843 55 (11) 3141-0110 Fax : 55 (11) 3266-3562

□イタリア

ローマ日本文化会館 <http://www.jfroma.it/>
The Japan Cultural Institute in Rome (The Japan Foundation)
Via Antonio Gramsci 74, 00197 Roma, Italy
Tel : 39 (06) 322-4754/94 Fax : 39 (06) 322-2165

□英国

ロンドン事務所 <http://www.jpfor.org.uk/>
The Japan Foundation, London
Russell Square House, 10-12 Russell Square, London WC1B 5EH, U. K.
Tel : 44-20-7436-6695 Fax : 44-20-7323-4888

□ドイツ

ケルン日本文化会館 <http://www.jki.de/>
The Japan Cultural Institute in Cologne (The Japan Foundation)
Universitätsstraße 98, 50674 Köln, Germany
Tel : 49 (221) 9405580 Fax : 49 (221) 9405589

□フランス

パリ日本文化会館 <http://www.mcjp.asso.fr/> (仏語版)
<http://www.jpfor.jp/mcjp/> (日本語版)
The Japan Cultural Institute in Paris (The Japan Foundation)
101 bis, quai Branly, 75740 Paris Cedex 15, France
Tel : 33 (1) 44-37-95-00 Fax : 33 (1) 44-37-95-15

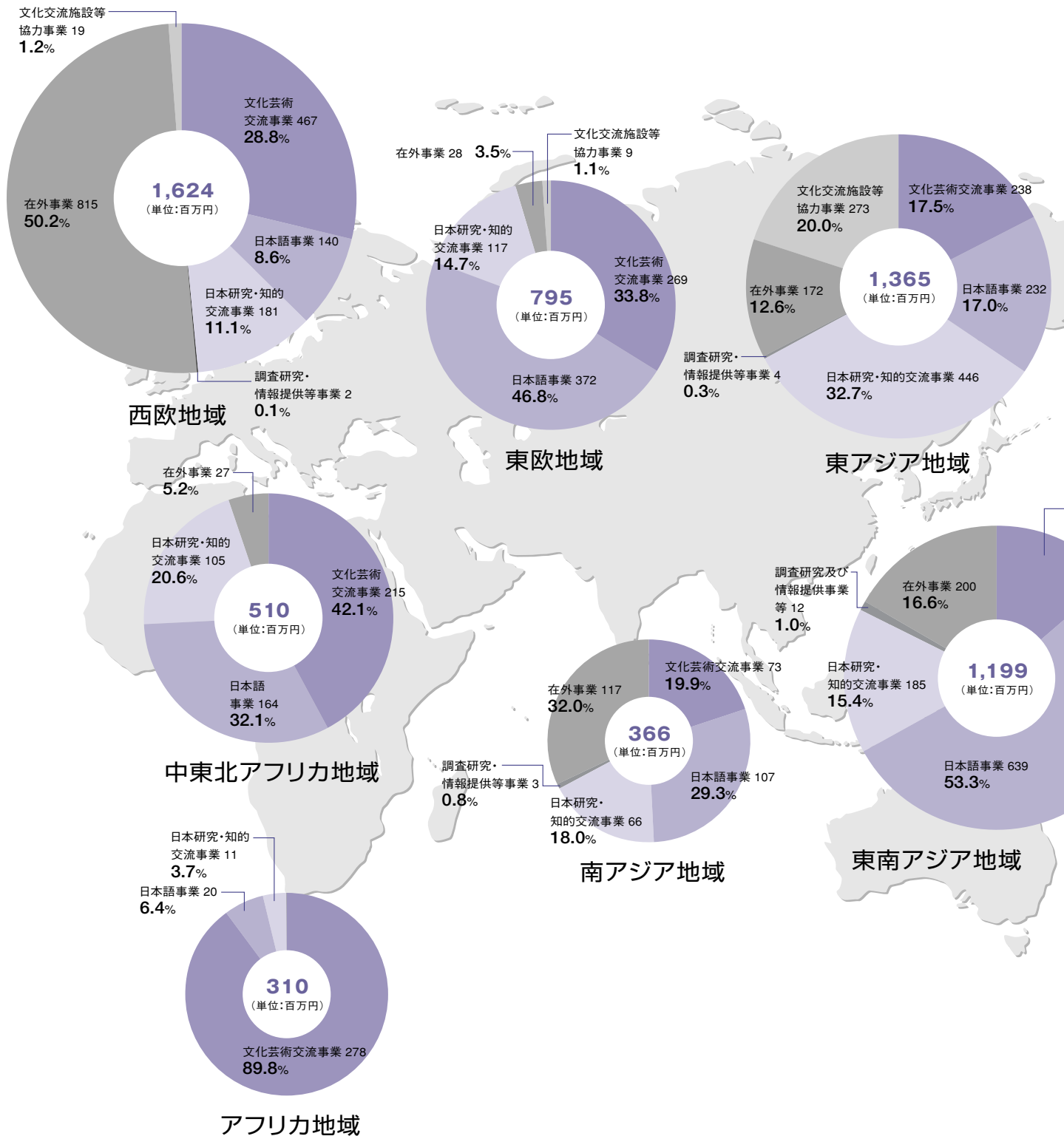
□ハンガリー

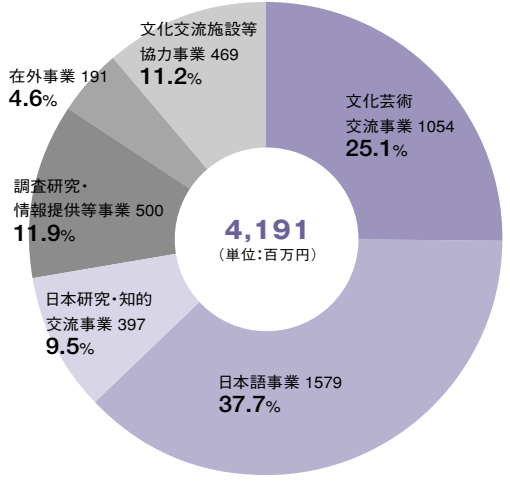
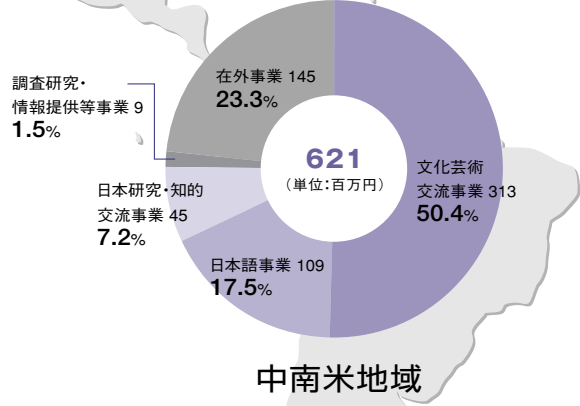
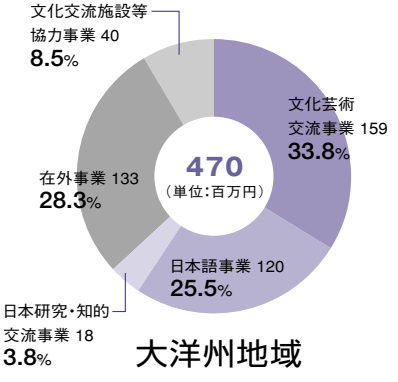
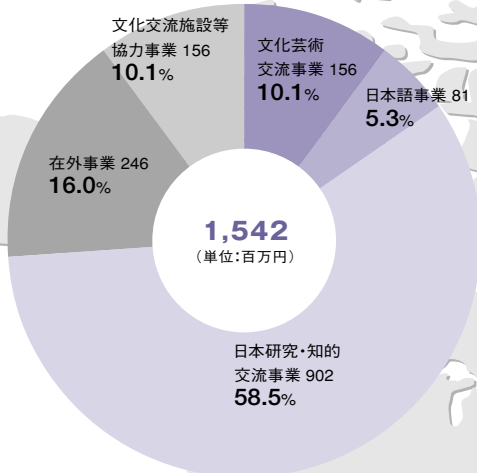
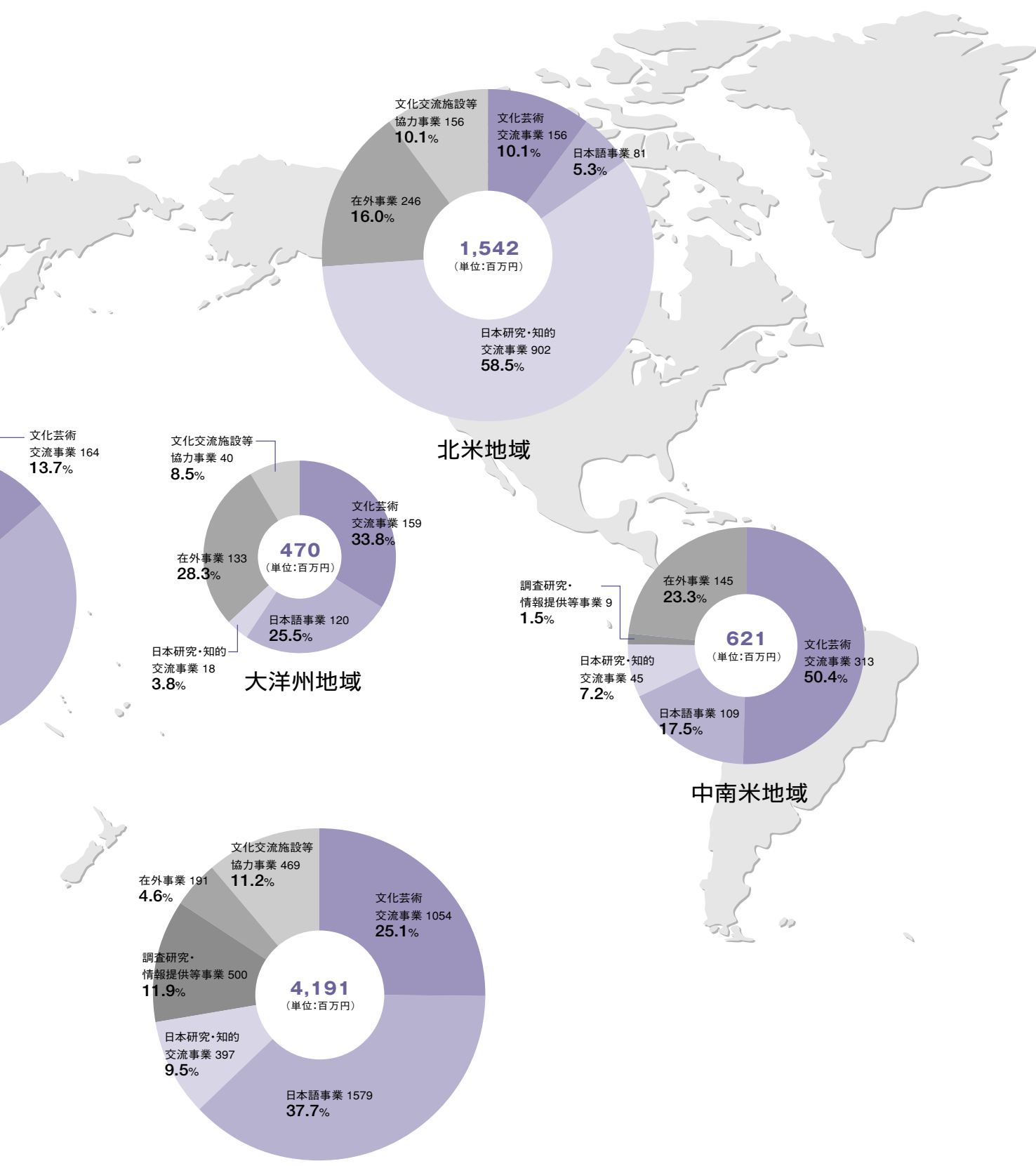
ブダペスト事務所 <http://www.jfbp.org.hu/>
The Japan Foundation, Budapest
Oktogon Haz 2F, 1062 Budapest, Aradi utca 8-10, Hungary
Tel : 36 (1) 214-0775/6 Fax : 36 (1) 214-0778

□エジプト

カイロ事務所 <http://www.jfcairo.org/>
The Japan Foundation, Cairo
Cairo Center Building, 5F, 2 Abdel Kader Hamza Street
Garden City, Cairo, Arab Republic of Egypt
Tel : 20 (2) 794-9431/9719 Fax : 20 (2) 794-9085

地域別活動内容構成比





注:円グラフの数値は、十万円単位を四捨五入して算出している為、合計値は100%にならない場合がある。

事業実績額上位20カ国

| 2000年度 | 米国 | 中国 | フランス | ロシア | インドネシア | 英国 | 韓国 | タイ | ドイツ | マレーシア | ブラジル | オーストラリア | インド | イタリア | フィリピン | エジプト | カナダ | メキシコ | オランダ | ポーランド |
|---------------|-------|-----|------|-----|--------|-----|-----|-----|-----|-------|------|---------|-----|------|-------|------|-----|------|------|-------|
| 事業費(百万円) | 1,640 | 734 | 648 | 563 | 544 | 461 | 444 | 418 | 399 | 370 | 359 | 321 | 275 | 266 | 194 | 181 | 177 | 142 | 117 | 110 |
| 総事業費に対する比率(%) | 10.5 | 4.7 | 4.2 | 3.6 | 3.5 | 3.0 | 2.8 | 2.7 | 2.6 | 2.4 | 2.3 | 2.1 | 1.8 | 1.7 | 1.2 | 1.2 | 1.1 | 0.9 | 0.8 | 0.7 |

| 2001年度 | 米国 | 中国 | 韓国 | 英国 | フランス | インドネシア | マレーシア | タイ | ドイツ | ブラジル | オーストラリア | ロシア | インド | イタリア | エジプト | フィリピン | カナダ | メキシコ | ウズベキスタン | ベトナム |
|---------------|-------|-----|-----|-----|------|--------|-------|-----|-----|------|---------|-----|-----|------|------|-------|-----|------|---------|------|
| 事業費(百万円) | 1,575 | 766 | 608 | 582 | 535 | 494 | 364 | 360 | 335 | 333 | 329 | 288 | 230 | 225 | 171 | 155 | 139 | 107 | 96 | 93 |
| 総事業費に対する比率(%) | 10.9 | 5.3 | 4.2 | 4.0 | 3.7 | 3.4 | 2.5 | 2.5 | 2.3 | 2.3 | 2.3 | 2.0 | 1.6 | 1.6 | 1.2 | 1.1 | 1.0 | 0.7 | 0.7 | 0.6 |

| 2002年度 | 米国 | 中国 | 韓国 | フランス | インドネシア | 英国 | タイ | ブラジル | マレーシア | オーストラリア | インド | ロシア | ドイツ | イタリア | メキシコ | フィリピン | カナダ | エジプト | ハンガリー | スリランカ |
|---------------|-------|-------|-----|------|--------|-----|-----|------|-------|---------|-----|-----|-----|------|------|-------|-----|------|-------|-------|
| 事業費(百万円) | 1,420 | 1,084 | 583 | 548 | 417 | 386 | 330 | 293 | 285 | 282 | 230 | 230 | 228 | 200 | 139 | 128 | 125 | 101 | 79 | 75 |
| 総事業費に対する比率(%) | 10.8 | 8.2 | 4.4 | 4.2 | 3.2 | 2.9 | 2.5 | 2.2 | 2.2 | 2.1 | 1.8 | 1.8 | 1.7 | 1.5 | 1.1 | 1.0 | 1.0 | 0.8 | 0.6 | 0.6 |

| 2003年度 | 米国 | フランス | 中国 | インドネシア | タイ | 韓国 | オーストラリア | ロシア | マレーシア | 英国 | イタリア | ドイツ | ブラジル | インド | フィリピン | カナダ | エジプト | ベトナム | ハンガリー | シンガポール |
|---------------|-------|------|-----|--------|-----|-----|---------|-----|-------|-----|------|-----|------|-----|-------|-----|------|------|-------|--------|
| 事業費(百万円) | 1,152 | 678 | 568 | 401 | 365 | 357 | 326 | 302 | 300 | 265 | 234 | 232 | 222 | 175 | 156 | 123 | 119 | 81 | 80 | 77 |
| 総事業費に対する比率(%) | 9.8 | 5.8 | 4.8 | 3.4 | 3.1 | 3.0 | 2.8 | 2.6 | 2.5 | 2.3 | 2.0 | 2.0 | 1.9 | 1.5 | 1.3 | 1.0 | 1.0 | 0.7 | 0.7 | 0.7 |

| 2004年度 | 米国 | フランス | 中国 | 韓国 | オーストラリア | インドネシア | ドイツ | タイ | ブラジル | ロシア | マレーシア | イタリア | 英国 | インド | カナダ | フィリピン | エジプト | ベトナム | ギリシャ | ハンガリー |
|---------------|-------|------|-----|-----|---------|--------|-----|-----|------|-----|-------|------|-----|-----|-----|-------|------|------|------|-------|
| 事業費(百万円) | 1,354 | 558 | 529 | 511 | 453 | 347 | 299 | 256 | 235 | 219 | 218 | 213 | 196 | 193 | 160 | 156 | 150 | 97 | 70 | 68 |
| 総事業費に対する比率(%) | 10.9 | 4.5 | 4.3 | 4.1 | 3.6 | 2.8 | 2.4 | 2.1 | 1.9 | 1.8 | 1.8 | 1.7 | 1.6 | 1.6 | 1.3 | 1.3 | 1.2 | 0.8 | 0.6 | 0.5 |

| 2005年度 | 米国 | 韓国 | フランス | 中国 | オーストラリア | ドイツ | インドネシア | ブラジル | インド | 英国 | マレーシア | イタリア | タイ | ロシア | カナダ | フィリピン | メキシコ | ベトナム | ハンガリー | エジプト |
|---------------|-------|-----|------|-----|---------|-----|--------|------|-----|-----|-------|------|-----|-----|-----|-------|------|------|-------|------|
| 事業費(百万円) | 1,365 | 803 | 596 | 521 | 373 | 306 | 305 | 280 | 251 | 237 | 224 | 223 | 192 | 176 | 170 | 131 | 125 | 121 | 105 | 101 |
| 総事業費に対する比率(%) | 10.5 | 6.2 | 4.6 | 4.0 | 2.9 | 2.4 | 2.3 | 2.2 | 1.9 | 1.8 | 1.7 | 1.7 | 1.5 | 1.4 | 1.3 | 1.0 | 1.0 | 0.9 | 0.8 | 0.8 |